

Weekly report



株式会社 ミンカブ・ジ・インフォノイド
東京都東京都千代田区神田神保町3-29-1

為替週間展望 = ドル円は 110円を中心とするもみ合いか

[9月6日からの1週間の展望]

| 週間高低 (カッコ内は日) | | 8月30日~9月3日 | | | |
|---------------|--------|------------|------------|--------|---------|
| | 始値 | 高値 | 安値 | 終値 | 前週比 |
| ドル・円 | 109.84 | 110.42(1) | 109.59(31) | 110.04 | +0.20 |
| ユーロ・ドル | 1.1791 | 1.1884(3) | 1.1783(30) | 1.1876 | +0.0081 |

=====

| 国内株・金利/米国株・金利 | | 終値 | | 前週末比 | |
|---------------|-----------|----------|-----------|-------|--------|
| | 終値 | 前週末比 | 終値 | 前週末比 | |
| 日経平均株価 | 29,128.11 | +1486.97 | 日本10年債利回り | 0.042 | +0.015 |
| ダウ平均株価 | 35,443.82 | -11.98 | 米10年債利回り | 1.284 | -0.023 |

=====

<来週の主要経済統計等>

- 6日 独7月製造業受注指数
- 7日 日本7月勤労者世帯家計調査
中国8月貿易収支
豪中銀 (RBA) 政策金利
日本7月景気動向指数速報値
スイス8月雇用統計
独7月鉱工業生産指数
独9月ZEW景況感指数
ユーロ圏第2四半期域内総生産 (GDP) 確報値
- 8日 日本7月経常収支
日本第2四半期国内総生産 (GDP) 2次速報
カナダ銀行 (BOC) 政策金利
カナダ8月Ivey購買部協会指数
- 9日 中国8月消費者物価指数、中国8月生産者物価指数
独7月貿易収支、独7月経常収支
欧州中央銀行 (ECB) 政策金利
ラガルドECB総裁記者会見
米新規失業保険申請件数
- 10日 独8月消費者物価指数確報値
英7月鉱工業生産指数、英7月製造業生産指数、英7月貿易収支
カナダ8月雇用統計
米8月生産者物価指数

【前回のレビュー】パウエル議長の講演で量的緩和の縮小 (テーパリング) の年内開始が適切との方向性は示されたものの、早期の利上げには慎重姿勢を示すなどタカ派シフトは見られなかった。ドル円は底堅く推移しそうだが、大幅な上昇は想定しにくく、ドル円は110円を挟んでの振幅が見込まれるとした。

【米経済指標は強弱入り混じる】

8月27日のジャクソンホール会議での米連邦準備制度理事会 (FRB) のパウエル議長の講演では、量的緩和の縮小 (テーパリング) について年内の開始が適切になると発言した。パウエル議長は利上げについて、テーパリングは直接的な利上げへのシグナルではない、利上げの基準はより厳しい、債券の新規購入が止まっても、これまで購入して積みあがった資産が緩和的な金融環境を整えるなどと慎重な姿勢を強調した。

パウエル議長の講演内容について、市場が期待するタカ派シフトが見られなかったと

してドル売りにつながった。この日のドル円は110.27付近まで上昇した後109.80近辺まで下落した。

米国株はパウエル議長の講演内容が想定ほどタカ派的でなかったことで、その後も堅調に推移している。NYダウは高値圏でもみ合っており、ナスダックやS&P500は最高値更新を繰り返すなど、株高の動きとなっている。株高の影響で円は売られやすく、ドル円はドル売りと円売りが交錯して、110円を挟んで方向感なく振幅を見せている。

このところの米国の経済指標はまちまちとなっている。8月30日の米7月中古住宅販売成約指数は前月比、前年比ともに予想を上回った。8月31日の8月のシカゴ購買部協会景気指数、8月のコンファレンスボード消費者信頼感指数はいずれも予想を下回った。1日の米8月ISM非製造業景況指数は59.9となり、事前予想の58.5や前回の59.5を上回った。米8月ADP雇用統計は前月比37.4万人増となり、事前予想の62.5万人増を下回った。2日の米新規失業保険申請件数は34.0万人となり、前週から低下して、市場予想も下回るなど良好な結果となった。

予想から下振れする指標も見られるものの、水準そのものは好調さを示すものも多く、米国での景気は堅調さを維持していると判断できそうだ。新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大が警戒されるものの、米国景気は底堅い動きを続けるとみられる。

米国では物価指標が高止まりしていることもあり、今後の米連邦公開市場委員会（FOMC）で量的緩和の縮小（テーパリング）の議論が進みそうだ。8月11日に発表された米7月消費者物価指数は前月比+0.5%、前年比+5.4%、コアは前月比+0.3%、前年比+4.3%と高水準となっている。8月27日発表の7月の個人消費支出（PCE）デフレーターは、前年比+4.2%、コア前年比が+3.6%とこちらも高水準となっている。サプライチェーン（商品の供給網）の混乱や人手不足が解消に向かえば、物価は緩やかに低下するとみられるが、それには時間がかかりそうだ。

テーパリングに関しては、「11月のFOMCで決定して、12月に開始」「12月のFOMCで決定して、1月に開始」といった見方が広がりつつある。今後の米経済指標の動向などを眺めながら、今後のFOMCで本格的な議論が進むこととなる。

テーパリングそのものは年内のどこかで決定して、その後を開始するというのとははや既定路線となりつつある。数か月かけての決定と開始となるため、市場に大きな混乱を及ぼすことはないと思われる。米長期金利は緩やかに上昇する可能性が高まり、これはドル買い要因となりそう。一方で米長期金利の上昇は株価には重石となるため、これは円買いにつながりやすくなるとみられる。こうした中、ドル円は110円を中心とするもみ合いとなりそうだ。ドル円の目先の予想レンジは、109.00～111.50円。

3日の昼ごろに菅首相が総裁選への出馬を見送る意向を表明した。これを受けて、日経平均は584円高と急伸した。ドル円は109円台後半での振幅から110円台に乗せたが、株価に比べて影響は限定的だった。ユーロ円やポンド円も堅調な動きを見せた。

今後の日米の経済指標やイベントとしては、7日に日本7月勤労者世帯家計調査、日本7月景気動向指数速報値、スイス8月雇用統計、8日に日本7月経常収支、日本第2四半期国内総生産（GDP）2次速報、9日に米新規失業保険申請件数、10日に米8月生産者物価指数などがある。

【ユーロドルは堅調な流れが継続か】

6日の週に注目されるのは9日に開催される欧州中央銀行（ECB）理事会で、市場では新型コロナウイルス対策で導入されたパンデミック緊急購入プログラム（PEPP）の規模縮小が議論されるとの見方も広がっている。米連邦準備制度理事会（FRB）だけでなく、ECBもテーパリングを模索することになれば、ユーロドルには支援材料となりそうだ。

ドル売りの流れを受けて、ユーロドルは上昇基調で推移している。1.1800ドルの節目を回復した後も上昇を続けており、1.18台後半まで上値を伸ばしてきた。ドル売りの動きに加えて、8月のユーロ圏消費者物価指数の上振れなどがユーロ買いにつながった。ユーロドルは堅調な流れが継続しそうだ。9日のECB理事会でPEPPの規模縮小が議論されるとユーロドルの上昇につながりそうだ。ユーロドルの目先の予想レンジは1.1750～1.2000ドル。

日米以外の今後の経済指標やイベントは、6日に独7月製造業受注指数、7日に中国8月貿易収支、豪中銀（RBA）政策金利、スイス8月雇用統計、独7月鉱工業生産指数、独9月ZEW景況感指数、ユーロ圏第2四半期域内総生産（GDP）確報値、8日にカナダ銀行（BOC）政策金利、カナダ8月IVEY購買部協会指数、9日に中国8月消費者物価指数、中国8月生産者物価指数、独7月貿易収支、独7月経常収支、欧州中央銀行（ECB）政策金利、ラガルドECB総裁記者会見、10日に独8月消費者物価指数確報値、英7月鉱工業生産指数、英7月製造業生産指数、英7月貿易収支、カナダ8月雇用統計などがある。

MINKABU PRESS 佐藤昌彦

※投資や売買についての判断は自己責任でお願いします。

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。